

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200418
事業所名	グループホームちから館とくがわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	自治会に加入し、町内行事の運動会や盆踊り、東区ふれあい会食に参加している。近隣の高校生がボランティアで訪問すると入居者はいきいきと自己紹介を行い、一緒にカレンダー作りを行っている。月1回、1階の集会を地域の方々に開放し、喫茶店やクリスマス会等のイベントを開催し、入居者と地域の方が交流しているなど、積極的に取り組んでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は年6回行い、参加者は家族代表、民生委員、自治会長、学区委員長、協力医師、いきいき支援センター職員、施設長、看護師、職員等である。内容はホームの行事報告、自治会、民生委員からの連絡、勉強会(ターミナルケアについて、認知症の新薬について、個人情報など)等を行い、サービスの質の向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市町村にはケアマネジャーが認定の更新等で訪問したり、管理者がいきいき支援センターへ訪問し、様々なことを相談したり、ホームが協力できることはないか等、話をしている。区主催の市民講座にも参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族会議を年2回、6月と12月に行っている。参加者は入居者、家族、代表(医師)、管理者、職員、看護師、ケアマネジャー、民生委員等で食事をしながら身体の状況や、気になること、サービス計画について等、意見や要望を出してもらえるように配慮している。要望には速やかに対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。